

事業紹介

商品

圧力発生機



プランジャーポンプ 高圧水の発生源となるポンプ 高圧水洗浄装置の動力源として利用

付属機器・部品



オイルシール類

高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする 外部からダストが侵入するのを防ぐ

応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー 多用途の高圧水洗浄機



商社

機能

メーカー

機能

金属接合機(TOX) 異種金属板を接合する機械

関連技術商品



三方ピストン弁(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁 主にタイヤメーカーの加硫機に使用

製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置 半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置

付属機器・部品

どに水や研磨剤などを供給

する回転継手

1 1 I



NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス) 自動車業界向けの、高圧 水を利用した部品の深穴 の金属バリ取装置



クリーンルーム対応 ロータリージョイント 半導体業界で、CMP設備な

工作機械用 ロータリージョイント マシニングセンタでク ーラント液をスピンド ルから噴射する用途に 使用する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに 迅速・的確に対応できる顧客 密着型の「メーカー商社」と いう業態です。

鉄 鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

株主の皆様へ





代表取締役社長 松浦賢治

「メーカー商社」として 世界の産業界に貢献します

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申 しあげます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。 さて当社第69期(平成26年4月1日から平成27年3 月31日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第69期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支 援を賜りますようお願い申しあげます。

トップインタビュー



当期の営業概況について教えてください。

Answer

売上高は前年同期比7.7%増の315億28百万円、営業利益は同11.9%増の13億76百万円、経常利益は同8.1%増の15億62百万円となりました。

当期の世界経済は、中国をはじめとする新興国での景気 減速が懸念されましたが、米国では景気回復が続いたほか、 欧州でも景気が持ち直すなど、緩やかな成長トレンドが維 持されました。

その一方、日本経済は消費税率アップの反動による景気 の落ち込みがみられたものの、雇用環境では改善が進み、 消費や設備投資面でも改善の動きがみられました。

このような経済環境のもと、当社グループは、新たに鉄 鋼事業部と自動車事業部を設立するなど、営業力強化を図 りました。

この結果、当期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益ともに堅調に推移しましたが、平成27年度税制改正による影響を受け、当期純利益は前年同期比1.2%減の7億79百万円となりました。





当期のセグメント別事業の概況についてお聞かせ ください。

Answer

顧客業界別での成績は、環境業界以外のすべてのセグメントにおいて増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、高効率・高品質な生産に寄与する商品の販売が伸び、鋼材の品質向上につながる加炭材、また油圧シリンダーや圧延ロールといった生産設備機器の販売が売上増に貢献しました。この結果、売上高は103億56百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

自動車業界向けでは、工作機械向け回転継手の販売が増加したほか、自動車製造ラインの課題解決に取り組んだことから、洗浄装置などの受注も得られ、売上高は68億26百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、自社製品である高圧バリ取り 装置、超音速ジェット湿式微粒化装置(G-smasher)の販売 が好調だったほか、半導体製造装置関連機器の修理再生ビ ジネスに力を入れたことで受注が伸び、売上高は31億97 百万円(前年同期比24.1%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、海外タイヤ生産設備向け投資を逃さず受注拡大につなげたほか、特にバルブの販売が大きく伸びたことから、売上高は31億19百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

高機能材業界向けでは、プラントなどで使用されるメカニカルシールの販売が伸びたほか、研究機関向け表面処理装置の販売が売上増に寄与し、売上高は12億84百万円(前年同期比27.8%増)となりました。

環境業界向けでは、ゴミ処理施設向け搬送装置、水処理施設向け大型ポンプなどがプラス材料となったものの、PCB処理施設向け設備投資案件の減少分が補えなかったため、売上高は13億62百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

紙パルプ業界向けでは、ポンプ類の販売が堅調に推移したほか、原料の離解装置(パルパー)の販売が売上増に貢献し、売上高は5億94百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

「戦略ビジョン2014」への取り組みの成果について教えてください。



計画通りに目標を達成できた『戦略ビジョン2014』に引き続き、さらなる飛躍を目指した新中期3ヵ年計画 『戦略ビジョン2017』をスタートします。

当社グループは、連結経常利益15億円を目指した中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2014』を、2012年度から推進してきましたが、最終年度となった2014年度に目標を達成することができました。

しかしながら、当社グループのお取引先である国内製造業は、少子高齢化に伴う国内市場の縮小を見越し、海外への生産拠点の移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっています。

これを受け、2015年度より新たに中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』を策定し、経営課題の解決と、経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

今後の見通しを含め、株主の皆様へのメッセージ をお願いします。

Answer

Question

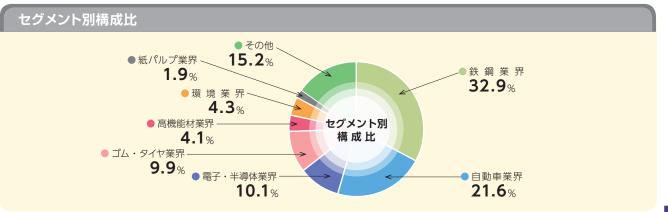
メーカー商社のビジネスモデルをさらに進化させ、日本 経済の回復を牽引するグローバル企業集団を目指します。

今後の日本経済は、消費税率の引き上げが先送りされた ことなどから、個人消費の堅調な推移が予想され、雇用環 境の改善とも相まって緩やかに回復すると考えられます。

各種の統計、調査からは、設備投資に対する企業のやや 慎重な姿勢が窺われるものの、好調な業績によって原資は 確保されつつあります。また、設備投資促進税制による国 の後押しにより、設備投資も次第に増加していくものと思 われます。

当社グループとしましては、これらの状況を踏まえたうえで、新中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』に基づく施策を推し進め、企業業績と企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの ご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。



連結財務諸表



連結貸借対照表	単位:百万円

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当期 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	15,670	15,833
固定資産	5,926	6,749
有形固定資産	1,920	1,984
無形固定資産	80	75
投資その他の資産	3,924	4,688
資産合計	21,597	22,582

科目	前期 (平成26年3月31日現在)	当期 (平成27年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	10,338	10,015
固定負債	1,044	1,148
負債合計	11,382	11,163
純資産の部		
株主資本	9,225	9,819
資本金	827	827
資本剰余金	683	683
利益剰余金	7,836	8,430
自己株式	△122	△122
その他の包括利益累計額	526	1,050
少数株主持分	462	548
純資産合計	10,214	11,418
負債・純資産合計	21,597	22,582







科目	前期 (平成25年4月 1日から) 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月 1日から) (平成27年3月31日まで)
売上高	29,273	31,528
売上原価	23,431	25,252
売上総利益	5,841	6,275
販売費及び一般管理費	4,612	4,899
営業利益	1,229	1,376
営業外収益	230	215
営業外費用	15	29
経常利益	1,444	1,562
特別利益	11	2
特別損失	6	9
税金等調整前当期純利益	1,449	1,555
法人税等	627	737
少数株主損益調整前当期純利益	821	817
少数株主利益	32	38
当期純利益	788	779

連結損益計算書

連結包括利益計算書		単位:百万円
科目	前期 (平成25年4月 1日から) 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月 1日から) 平成27年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	821	817
その他の包括利益	354	578
その他有価証券評価差額金	260	475
為替換算調整勘定	93	54
退職給付に係る調整額	_	46
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
包括利益	1,175	1,396
(内 訳)	••••••	
親会社株主に係る包括利益	1,109	1,303
少数株主に係る包括利益	65	93
連結キャッシュ・フロー計算書		単位:百万[
科目	前期 (平成25年4月 1日から) 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで
当世江野に Fスナ・ハン・ コロ	1 220	00

科目	前期 (平成25年4月 1日から) 平成26年3月31日まで)	当期 (平成26年4月1日から) 平成27年3月31日まで)
	(半成20年3月31日まで)	(平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,238	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△683	216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,169	22
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△568	350
現金及び現金同等物の期首残高	2,288	1,821
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	101	_
現金及び現金同等物の期末残高	1,821	2,172





単位:百万円



戦略ビジョン2017



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に 依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市 場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移 管をますます加速していることから、この変化への対応が最 も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2012年度に始まる中期3ヵ年計画『戦略

ビジョン2014』において、経常利益(連結)15億円を目標としておりましたが、最終年度である2014年度に達成することができました。

これを受けて、2015年度より新たに中期3ヵ年計画『戦略 ビジョン2017』を下記のとおり策定し、経営課題の解決と 経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2014 2012年度~2014年度



戦略ビジョン20172015年度~2017年度

戦略ビジョン2017(2015年度~2017年度)

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップしながら、高付加価値を創り出し、各々の分野のナンバーワン企業顧客に、提供できるグローバルニッチトップのグローバル企業集団を目指します。

経営目標

経常利益20億円(連結)の達成

- ●事業方針
- メーカー商社のビジネスモデルの進化
- 1) 営業プロセス改革・生産プロセス改革の継続
- 2) 顧客接点でのメーカー的対応能力の強化
- 3) リックスグループ企業の協働を通じた結束の強化
- 4) 新事業開発・新製品開発・新市場開発の推進

2 海外事業展開の促進

- 1) 欧米を含むグローバルな拠点展開
- 2) アジア地域における適正規模での黒字化
- 3 人と組織の能力向上
 - 1) 企画機能の向上と全社的な統合
 - 2) 社内制度・ルール・教育体系の根本的な見直し
 - 3) 計画的・継続的な人材育成

Topic

シリーズ製品紹介

リックスの製品はこんなところで使われています...

■ 超音速ジェット湿式微粒化装置 G-smasher

近年、最先端技術研究で「微細な粉」が注目されています。医薬品であれば、皮膚の穴より細かい粉を湿布のように皮膚に貼ることで、皮膚を通して薬を与えることができます。電子部品であれば、細かい金属粉を薄く塗って乾かすことで、薄膜を作ることができます。スマートフォンをスリムに、より小さくするために、薄膜の配線が多用されています(図 1)。そのほか、自動車の電子部品材料、3Dプリンタ材料など、いろいろな分野で「微細な粉」の応用が期待されているところです。

ところが、「微細な粉」には「水に混ぜると凝集体ができる」というやっかいな問題がつきまといます。小麦粉を水で溶くときにダマができますが、一度ダマができるとなかなか潰れません。細かい粉であるほど凝集力が強く、ほぐすことが難しくなります。

G-smasherはこの問題を、超音速の空気流中に混合液を投入して加速し、板に衝突させる方法によって解決しました(特許取得済、図3)。

G-smasherは、超音速ジェットの力で凝集体をほぐして、粒を揃え、均一に混ぜることができる装置です。工業材料、医薬品、化粧品などの分野で取り扱われるナノ(1mmの百万分の1)からマイクロ(1mmの千分の1)レベルの「微細な粉」を【効果的に】【素材を傷めずに】【低温の中で】処理できるなど、既存の微粒化装置にない特長を持っています。これまでに工業材料の分野でご採用いただき、他分野にも、広くG-smasherを使っていただけるよう努力してまいります。

● 受 賞

2008年 2008 粉体工学会秋季発表会技術賞 **2015年** JPCAアワード2015

図1 スマートフォンの内部の微細配線



図2 小さいほど凝集力が強くなります。

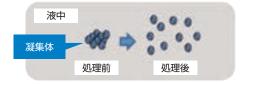


図3 G-smasherの原理

特殊ノズルでエアを超音速に加速し、そこに凝集体を含む 液を投入します。液は加速され板に衝突します。



図4 G-smasherの外観



リックスグループネットワーク 海外ネットワーク (平成27年4月1日現在) クロンベルグ ●マニトバ(カナダ) (ドイツ) RIX Europe GmbH(ドイツ) 瑞顧克斯工業(大連)有限公司(中国) ●アディスン(アメリカ) ●トリノ(イタリア) ソウル(韓国)● 瑞顧克斯(常州)机械制造有限公司(中国) バルセロナ(スペイン) 瑞顧斯貿易(上海)有限公司(中国) 福州市(中国)● ●バンコク(タイ) RIX TECHNOLOGY(THAILAND)CO..LTD.(タイ) チェンナイ(インド) スランゴール(マレーシア). SIAM RIX MANUFACTURING CO.,LTD.(タイ) ジャカルタ(インドネシア)● ■当社海外拠点 サンパウロ(ブラジル)

事業所(平成27年4月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

● 現地代理店所在地

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。 ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



会社情報/株式情報



会社概要(平成27年3月31日現在)

- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創 業 明治40年(1907年)10月
- 設 立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資 本 金 8億2,790万円
- ●従業員345名(連結513名)
- 主 要 な 高圧液圧応用機器、精密計測・検査
- 事業内容 機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役 (平成27年6月26日現在)

代表取	7締役社	長	松浦	賢	治	取	締	役	橋	本		忠
常務	取締	役	柿 森	英	明	取	締	役	安	井		卓
常務	取締	役	川久保		昇	取(監査	締等委	役員)	大	Ш	宣	彦
取	締	役	苅田		透							純(*)
取	締	役	芹川	康	介	(監査	等委	員)	۷,	70	ш	水化(*)
			,, ,,,	~~~		取 (監査	締 等委	役 員)	武	藤		靖(*)

(*)社外取締役

27.600.000株

株式の状況(平成27年3月31日現在)

- 発行可能株式総数
- 発行済株式の総数● 株主数8,640,000株10,354名

大株主 (上位10名)

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	13.83
リックス取引先持株会	492	5.84
安井玄一郎	455	5.39
株式会社西日本シティ銀行	382	4.53
リックス従業員持株会	348	4.12
安井龍之助	242	2.87
株式会社サニックス	240	2.84
園田和佳子	172	2.04
山田貴広	172	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.80

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

2. 上記大株主のほか、当社は自己株式197千株を保有しております。

株式分布状況 (平成27年3月31日現在)

所有者別株式分布状況

- 個人・その他 60.11% ■ 自己株式 2.28%
- 外国法人等 0.02%■ 金融商品取引業者 0.17%
- 金融機関 13.73%
- その他の法人 23.69%

所有株数別株式分布状況

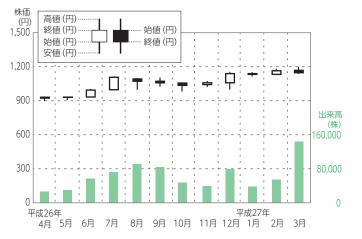
- 10単元未満 12.40%
- 10単元以上 4.10% 50単元以上 3.34%
- 100単元以上 18.80%
- 500単元以上 9.40%
- 1.000単元以上 38.44%
- 5,000単元以上 13.52%



合計

8,640,000株

株価および株式売買高の推移



株主メモ

■ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会 毎年6月

■配当金受領 期末配当金 3月31日 株主確定日 中間配当金 9月30日

■ 株主名簿管理人 および特別□座の 三菱UFJ信託銀行株式会社 □座管理機関

■ 株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。 ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式 会社に申し出てください。

■ 同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

■ 公告方法 電子公告により行います。

公告掲載

URL http://www.rix.co.jp/

ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

平柱/月利用にムロしより。

■ 単元株式数 100株

■ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

福岡証券取引所

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル デザインフォントを採用しています。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社 株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制 度を実施しています。

- 割当基準日3月31日ならびに9月30日
- ●優待内容
 - ・100株以上1.000株未満所有の株主様
 - → クオカード1,000円分
 - ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様
 - → クオカード2,000円分
 - ・10.000株以上所有の株主様
 - → クオカード5.000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

http://www.rix.co.jp/

リックス株式会社



